

国立情報学研究所

オープンサイエンス基盤研究センター

Research Center for Open Science and Data Platform

RCOS?

国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター（RCOS）は、世界的なオープンサイエンスへの期待の高まりを、全ての研究者の経験へと変換するための「研究データ基盤」を整備することを目的に設置されました。

学術論文のオープンアクセスに加えて、研究データもインターネット上で公開していくことは、研究者の責務となりつつあります。

アカデミアに加えて広く社会とも研究成果を共有することで、研究の加速化、学際領域研究や社会における問題解決、イノベーションの創出、産業への貢献につなげようとする狙いがあります。研究公正の観点からも研究データの公開は推進されています。RCOS は、科学の新しいスタイルとなるオープンサイエンスを基盤の立場から支えます。



Research Data Platforms

NII 研究データ基盤は、研究活動の過程で生成される研究データや関連する資料を管理・公開・検索するための学術情報サービスです。それぞれ独立した、研究データのための管理基盤（GakuNin RDM）、公開基盤（WEKO3）、検索基盤（CiNii Research）からなります。

これら3つの基盤で、研究ライフサイクルに沿って研究者をサポートします。



GakuNin RDM

研究データ管理基盤

- 研究を推進する際に、研究データ管理基盤（GakuNin RDM）にプロジェクトを立て、研究データを管理・共有

研究者個人あるいは共同研究者間で、研究データや関連する資料を管理するための基盤。既存のストレージや研究ソフトウェアとの連携が可能。ファイルのバージョン管理やグループ内のアクセス制御に加えて、研究公正への対応として研究証跡を記録する機能や研究データを長期保存する機能も有します。学認を利用する国内学術機関の研究者は、シングルサインオンによる利用が可能です。



WEKO3

研究データ公開基盤

- 研究終了後、公開基盤（WEKO3）で研究データを公開

研究者が公開すると判断した研究データや関連する資料を公開するための基盤。GakuNin RDMと連携した簡便な操作により、所属機関のリポジトリから研究データを公開できます。DOIの付与や学術論文との関係性を記述することで、研究データの再利用性がより高まります。公開コンテンツの利用状況を多角的に集計し、登録した研究者にフィードバックする機能も有しています。

CiNii Research

研究データ検索基盤

- 検索基盤（CiNii Research）を通じて研究データを検索・入手し、新たな研究テーマの着想や実施に利用

公開基盤や他のデータベースで公開された研究データとその関連情報を横断的に検索する基盤。研究データから得られた成果である学術論文や図書に関する情報、データを作成した研究者や研究プロジェクトの情報などを包括する大規模学術ナレッジグラフを構築する技術を核とします。研究者のニーズに合わせた多様な発見手段を提供する次世代検索サービスです。



Advancing Open Science with Research Data Platforms

NII 研究データ基盤は、研究者の行う研究活動の研究ライフサイクルに沿って利用されます。研究の着想を得るために検索基盤（CiNii Research）で自身の研究テーマに関連する資料を調べ、研究実施時に共同研究者と管理基盤（GakuNin RDM）でファイル等を管理し、研究終了時に公開基盤（WEKO3）にて学術論文や研究データを公開します。公開される様々な学術資源は、産業界や一般の方々からも利用が可能となります。

大学や研究機関において NII 研究データ基盤を積極的に利用頂くために、関係する情報基盤センター、図書館、研究支援部門と密接に連携しながら技術開発を進めてまいります。本サービスは、2020 年から本格運用予定です。